
《歯科用練成器具》

クルクル2

取扱説明書

Dentronics

株式会社 **デントロニクス**

23.06

1. はじめに

このたびはデントロニクスの歯科用練成器具クルクル2をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、クルクル2の操作・取扱方法、メンテナンス等を説明するものです。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。そして、正しい操作・取扱・メンテナンスによって、本機の機能を十分に発揮されるようお願いいたします。

(お読みになったこの取扱説明書は、本機の近くの判りやすい場所に大切に保管してください。)

クルクル2の特長

- 石膏やアルギン酸に対し、気泡の少ない安定した品質の練和を可能とします。
- ラバーボウルは使いやすい前傾角度にセットされ、ワンタッチ着脱式です。
(ラバーボウルは標準で2個付属します。)
- 練和材の量や種類に合わせて適性な回転速度が得られるフットコントローラー付きですから、両手が自由に使えます。
- 汚れを拭き取りやすい本体形状です。
- 回転が滑らかで使いやすく、操作はとても簡単です。

目次

1. はじめに	P.2
2. 本機を安全にお使いいただくために	3
3. 設置と準備	4
4. 使用方法	5
5. メンテナンス	6
6. 仕様	7
7. 廃棄	7

2. 本機を安全にお使いいただくために

●本機を安全にお使いいただくために、特に次の危険防止事項について細心の注意をお払いいただき、機械の故障、火災、人身事故等が発生しないよう心がけてください。


1. 本体の寿命を延ばすため、また、あらゆるトラブルを防ぐため、練和終了後や未使用時は必ず電源スイッチを切ってください。
2. 長時間の連続使用は、なるべくお避けください。なお、連続使用されると本体に熱を持ちますが、これは異常ではありません。
3. 使用中は、本体を動かしたり衝撃を加えたりしないでください。
4. ラバーボウルが回転している状態での清掃は危険です。必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
5. スパチュラの金属部分は、練和によって摩耗して、刃物のようになることがあります。十分ご注意ください。
6. 本取扱説明書の各項目に記された「警告」や「注意」を、よくお読みください。

●下記の項目に関しましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 当社または当社指定の業者以外による取り付け・移設・改造・保守・修理等に基づく故障・損傷・人身事故
2. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷・およびこれらに基づく人身事故
3. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を無視された結果に基づく故障・損傷・人身事故
4. この取扱説明書に記載されている電源・設置環境等本機使用条件を逸脱した状況による故障・損傷・人身事故
5. 火災・地震・水害・落雷等天災による故障・損傷・人身事故

●本取扱説明書では、各内容に関連する危険防止事項および注意事項を、下記の記号により表示しています。

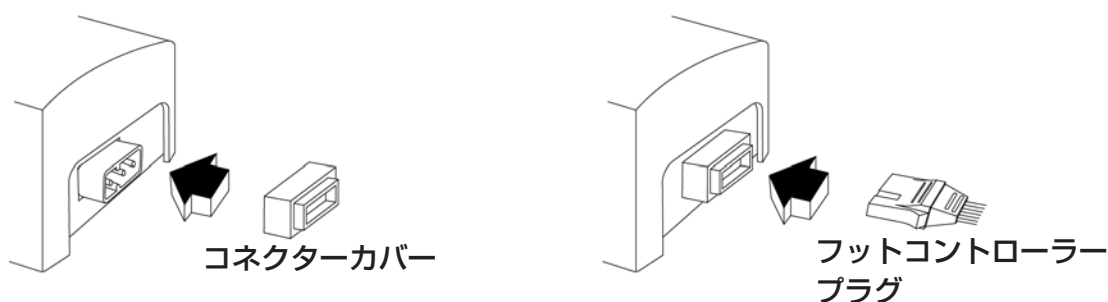
 **警告** : 人身事故や機器の大きな損傷・故障につながる恐れのある危険事項を説明しています。

 **注意** : 機器の損傷や故障、各種トラブルにつながる恐れのある注意事項を説明しています。

3. 設置と準備

- ① 使いやすい高さで十分な広さの台の上に本体を設置し、足元にフットコントローラー（付属品）を置きます。
- ② 本体右側面の電源スイッチを、OFFにしておきます。
- ③ フットコントローラーのプラグを、本体背面のコネクターに差し込みます。

※コネクターカバーが取り付けられている事を確認してください。



- ④ フットコントローラーの電源プラグを、コンセントに差し込みます。
- ⑤ アースコード（付属品）を本体底面のアース端子に固定し、一方をアースに接続します。



1. 感電の防止のため、アース接続を行なってください。
2. 各接続が不十分な場合、火災、感電などの事故や故障の原因になる恐れがあります。



1. 設置に際しては、次のような場所を避けてください。
高温・多湿の場所、ゴミ・ホコリ等の多い場所、傾斜・振動・衝撃等のある不安定な場所、水のかかる場所
2. 本体の上に物を置かないでください。不具合や故障の原因になります。
3. コネクターカバーはフットコントローラー接続部に、水、薬液、または異物が侵入するのを防止するため、正しく取り付けてください。ショートによる火災や故障の原因となります。
4. コネクターカバーは定期的に汚れや破損がないかを確認してください。破損している場合は交換してください。

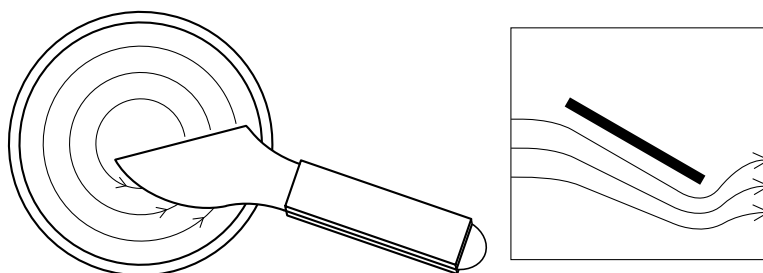
4. 使用方法

- ① ラバーボウルに、水とパウダーを入れます。
- ② スパチュラで数回攪拌して、水とパウダーをなじませます。
- ③ ラバーボウルを、本体上面の受け台にセットします。
- ④ 本体右側面の電源スイッチを、ONにします。

※本体正面のランプが緑色に点灯します。

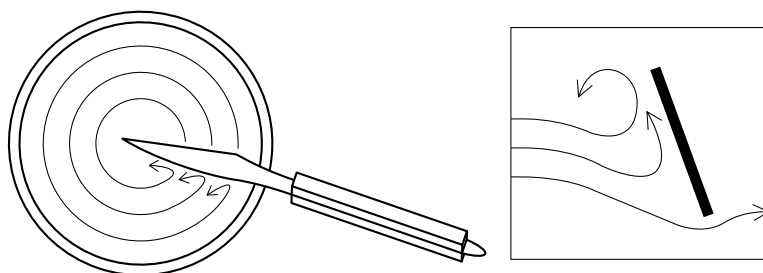
- ⑤ フットコントローラーを踏んでラバーボウルの回転を徐々に上げながら、練和材に対しスパチュラを斜めに当てて、押さえつけるようにして練和します。

※スパチュラの角度は、必ず左へ倒す（寝かせる）ようにします。右へ倒すと、練和材が飛び出してしまう。



- ⑥ スパチュラの角度を立てて、練和材をせき止めるようにして集めます。

※スパチュラの角度は、必ず多少左へ倒すようにします。右へ倒すと、練和材が飛び出してしまう。



- ⑦ 回転を止めて、集めた練和材をスパチュラに載せ、ラバーボウルの縁でしごくようにしてラバーボウルに戻します。
- ⑧ 上記⑤～⑦を、気泡がなくなるまで数回繰り返します。



1. ラバーボウルのセットは、確実にこなしてください。緩んでいると、練和時に飛び出すことがあります。
2. 回転は徐々に上げてください。急激に回転を上げると、ラバーボウルが飛び出す恐れがあります。
3. 練和回転中は、スパチュラを練和材に当て続けてください。スパチュラを放すと、遠心力で練和材が飛び出します。
4. 本機は石膏、アルギン酸用の練成器具です。他のパウダーの練和に使用すると、十分な性能が得られなかったり本機の故障や損傷につながったりする恐れがあります。



1. 使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
2. 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

5. メンテナンス

① ラバーボウルは、練和終了毎に必ず水洗いしてください。

※ラバーボウルに古い練和材が付着したまま次の攪拌を行なうと、正常な練和材が得られません。

② 受け台は、水で濡らしたガーゼや中性洗剤を含ませた布による拭き取り清掃を行なってください。

※受け台に練和材等が付着していると、ラバーボウルのセットがしにくくなります。



1. 清掃は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



1. ラバーボウルには、薬液による消毒や清掃を行わないでください。
2. ベンジンやシンナーによる清掃は、行わないでください。本体その他の材質を侵します。

6. 仕様

名称：	クルクル2
型式：	SDM-2
一般的名称：	歯科用練成器具
医療機器分類：	一般医療機器
届出番号：	13B2X00051000011
電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	90w
回転数：	0～850±50min ⁻¹
外径寸法：	W138×H200×D225mm（Hはラバーボウル装着時）
質量：	本体：約2kg、ラバーボウル：約180g
付属品：	ラバーボウル（2個）、スパチュラ（1本）、フットコントローラー（1台）、アースコード（1本）、コネクターカバー（1個）

7. 廃棄

医療機器を廃棄処分する場合、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）にて、排出事業者（医療関係機関）の責任にて廃棄することが求められています。

廃棄物は医療関係機関において感染性廃棄物と非感染性廃棄物に区分し、許可を有している廃棄物処理業者に廃棄を依頼する必要があります。

感染性廃棄物は、ほかの廃棄物と分別し、特別管理産業廃棄物収集運搬業者、処分業者に依頼してください。

非感染性廃棄物は、定められた種類に分類し、産業廃棄物収集運搬業者、処分業者に依頼してください。廃棄方法は各自治体により異なりますので、確認のうえ適切に処分してください。



分解・修理・改造は行わないでください。けがや感電などの事故や故障の原因となります。
修理はお買い上げの販売業者、当社指定の販売業者・修理行者、または 当社へご連絡ください。

仕様・外観等は予告なく変更することがあります。

発売元 **株式会社 デントロニクス**

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町68 TEL (03)3209-7121 FAX (03)3232-6764
www.dentronics.co.jp

製造販売元 **城田電気炉材株式会社**

製造販売業13B2X00051
〒165-0033 東京都中野区若宮2-55-3 TEL (03)3330-6370 FAX (03)3330-6332
www.shirota-denki.co.jp